

読書のすゝめ

その25

H 28 9 / 2

気持ちの切り換え

長い夏休みが終わり、初日からテスト。9月1日はなんともうらめしい一日でしたが、ここでうまく気持ちを切り換えて「実りの秋」を迎えましょう！ 栗・サツマイモ・梨・ぶどう、そして新米。食の豊かさ（実り）だけではなく、「秋の日はつるべ落とし」といわれるように、これからは急速に日が暮れて夜の時間が長くなっていく。思索の時間が増えますから、学習にも拍車がかかるのではないのでしょうか。今何をしなければいけないか、それぞれの課題から目をそらさずしっかり取り組んでいきましょう。

8月末に63冊の本が入りました。旅の本も入りましたので、現実逃避したいときは眺めるだけでもいかがでしょうか？

新着図書から

『小説君の名は。』新海誠

(角川文庫)



山深い田舎町に暮らす女子高校生・三葉は、自分が男の子になる夢を見る。見慣れない部屋、見知らぬ友人、目の前に広がるのは東京の街並み。一方、東京で暮らす男子高校生・瀧も、山奥の町で自分が女子高校生になる夢を見る。やがて二人は夢の中で入れ替わっていることに気づくが――。出会うことのない二人の出会いから、運命の歯車が動き出す。
長編アニメーション『君の名は。』の、新海誠監督みずから執筆した原作小説。

すでに映画館で美しい映像に感動した人は、文字でその感動を思い起こしてください。
『小説秒速5センチメートル』も図書館にありますよ。

『陸王』池井戸潤



コンビニ人間 (村田沙耶香)



水族館ガール1・2・3

(木宮条太郎)



『アンマーとぼくら』(有川浩)



『東京會館とわたし』上下 (辻村深月)



『玉依姫』(阿部智里)



『ここで負けてしまつてごめん』(岩崎夏海)



『森沢明夫のおつかい便』(森沢明夫)

